



あゆみ

青梅市立河辺小学校 学校便り

No. 659 令和5年2月1日

青梅市立河辺小学校 校長 関谷 望

学校を支える力 ～人的環境～

校長 関谷 望

3学期の短さや時の流れのはやさを表して「行ってしまう1月、逃げてしまう2月、去ってしまう3月」などと言われますが、もう2月。3学期も中盤に差し掛かりました。進級・進学の子音も聞こえ始めてきました。

本校では昨年度と今年度、東京都の「社会の力活用事業」に応募して認可をいただき、3・4年生の外国語活動の授業の一部を、学校や民間英語スクール等で講師としての指導経験の豊富な圓城寺千乃先生に担当していただいています。確かな英語力と指導力で、楽しい授業を展開してくださっているのと同時に、一緒に指導にあたる担任にとっても多くの学びがあります。また、教員対象の英語研修などにご協力いただくこともあります。

青梅市では、AET (Assistant English Teacher) として外国人講師を全小中学校に派遣しています。本校ではクリス先生が、毎時間ではありませんが授業に加わってくださっています。

外国語(英語)は2011年の学習指導要領改訂で「外国語活動」として5・6年生で必修化(年間35時間)され、その後の改定で現在は5・6年生で「外国語」として年間70時間(週2時間程度)、3・4年生で「外国語活動」として年間35時間(週1時間程度)実施されています。まだ、必修化されて10年程度ですので、若手教員の中にも「小学校時代に英語を学習した」という経験のある教員はいないという状況です。こうした外部講師の方が指導に加わってくださることは大変ありがたいことです。

本校は、専科を担当している教職経験豊富な講師、先に挙げたような外部講師などを含めた多くの先生に加え、いわゆる「教員」以外の多くの人の力にも支えられています。

昔から「学校教育の土台」を支えている事務職員や業務職員、教員の多忙化対策として近年導入された副校長補佐やスクールサポートスタッフ、巡回型通級指導学級の巡回教員と本校教員を繋ぐ役割を担う特別支援教室専門員などの学校職員。

さらに、主に1年生の学習や生活のフォローをしている学校教育活動支援員や学習ボランティア、食や安全を支えている給食配膳員や学校警備員、図書館整備や読書教育にご尽力している学校司書や図書ボランティアの皆さん…等々、挙げていくときりがありません。

もちろん、学校運営や地域の安全に多くのお力添えをいただいているPTAや、学校や子供たちを見守ってくださっている地域の皆様、そして、お子様を愛し慈しみ、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただいているお一人お一人の保護者の皆様のおかげで、学校の教育活動が成り立っていることは言うまでもありません。また、教育委員会にも様々な面で学校を力強く支えていただいています。

人は、人と関わりながら、人として成長していきます。子供たちは様々な方々との直接的・間接的なかかわりから、様々な「学び」を得ていることでしょう。

今後も、学校内外の「人的環境」を大切にしながら、子供たちの豊かな学びが実現できるように努めていきたいと思っております。皆様のご理解・ご協力を引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。